

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成22年3月25日 (2010.3.25)

【公開番号】特開2006-238205(P2006-238205A)
 【公開日】平成18年9月7日 (2006.9.7)
 【年通号数】公開・登録公報2006-035
 【出願番号】特願2005-51776(P2005-51776)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

H 0 4 N 5/335 (2006.01)

H 0 4 N 9/07 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/232 Z

H 0 4 N 5/335 F

H 0 4 N 5/335 P

H 0 4 N 9/07 A

【手続補正書】
 【提出日】平成22年2月4日 (2010.2.4)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 4 6
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 4 6】

以上のように、第 1 及び第 2 の実施形態によれば、リリース鉤により静止画撮影が指示されたときには、動画中静止画撮影モードになる。動画中静止画撮影モードでは、C C D 1 2 の全画素をインターレース走査で 3 フィールドに分けて順次画像信号を読み出す例を説明したが、3 フィールドに限定されず、m フィールド (m は 2 以上の自然数) に分けて読み出すことができる (第 1 の読み出し手段)。そして、その読み出した m フィールドの画像信号を基に m フィールドの動画像信号を生成すると共に 1 フレームの静止画像信号を生成する (第 1 の画像生成手段)。これにより、動画像撮影中の任意の時点で、表示・記録中の動画像を途切れさせることなく、高精細な静止画像を撮影することができる。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 4 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 4 7】

また、リリース鉤により静止画撮影が指示されないときは動画撮影モードになる。動画撮影モードでは、m フィールドのうちの特定の 1 フィールド (例えば A フィールド) の画像信号を垂直同期信号 V D に同期して連続して読み出し (第 2 の読み出し手段)、その連続して読み出した特定の 1 フィールドの画像信号を基に動画像信号を生成する (第 2 の画像生成手段)。